平成 21 年 10 月 7 日
東京都感染症対策本部
福　祉　保　健　局

新型インフルエンザに関する東京都の対応等について（第２１４報）

（新型インフルエンザによる重症例の発生について）

平成２１年 10 月 7 日、都内保健所から、新型インフルエンザによる合併症のため人工呼吸器を装着した患者の報告がありましたので、当該事例の概要等につき、以下のとおりお知らせします。

1　概要

患者は、都内に在住の４歳男児。平成 21 年 10 月 4 日より 39.9℃の発熱が出現。10 月 5 日、近医でインフルエンザ迅速キットＡ型陽性となり、タミフルを処方されたが、帰宅途中に痙攣が出現したため都内の病院に救急搬送され、入院となった。

入院後、意識状態と呼吸状態が悪化し、10 月６日、人工呼吸器を装着された。頭部ＣＴ所見より急性脳炎が疑われ、支持療法開始。10 月 6 日の遺伝子検査で新型インフルエンザが確定し、10 月 7 日、急性脳炎の届出がなされた。

2　現在の患者の状況

集中治療室で、人工呼吸器装着中。体温 40.0℃でタミフル、支持療法実施中。基礎疾患なし。

【お問合わせ先】
東京都福祉保健局健康安全部
感染症対策課　03-5320-4482